

**「海」と「海の日」に関する
アンケート調査報告書**

< 児童生徒対象 >

平成 14 年 12 月

財団法人 日本海事広報協会

目 次

調査設計	... (3)
調査協力校一覧	... (4)
調査対象者の属性	... (7)
回答者の年齢別分布	... (8)
回答者の地域別分布	... (9)
集計表	
(A)「海」について	... (11)
(B)『海の日』について	... (20)
(C)『海』や『海の日』についての ご意見や感想	... (24)

調査設計

1. 調査目的

海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う国民の祝日である『海の日』が、平成 15 年より 7 月 20 日から 7 月第 3 月曜日に変る。財団法人日本海事広報協会では、海のことを考え、海に親しみ、海を大切にしていくなためさまざまな活動をしているが、これを機会にひろく一般国民に『海』や『海の日』に関心を持っていただく活動を展開する。そのために、特に青少年に絶対的影響力を持つ小学校・中学校・高等学校の教員、計 5000 名、および小学生・中学生・高校生、計 5000 名とその保護者対象に意識調査を行った。

2. 調査対象

小学生・中学生・高校生、計 5000 名

3. 調査方法

全国の小学校・中学校・高等学校のうち協力校 53 校に対し、教育新聞社の協力によりアンケート用紙を郵送。担当教員より児童生徒を通じて各家庭に調査協力依頼。担当教員による回答回収。

4. 調査時期

平成 14 年 11 月 1 日～11 月 15 日

調査協力校一覧

学校名
<小学校>
青森県八戸市立八戸小学校
岩手県北上市立成田小学校
岩手県北上市立黒沢尻小学校
福島県桧枝岐村立桧枝岐小学校
栃木県那須町立那須小学校
福井県福井市立国見小学校
山梨県甲府市立東小学校
静岡県藤枝市立高洲小学校
奈良県 天理小学校
京都府舞鶴市立吉原小学校
大阪府大阪市立滝川小学校
兵庫県宝塚市立売布小学校
広島県尾道市立長江小学校
岡山県倉敷市立味野小学校
愛媛県伯方町立有津小学校
佐賀県塩田町小学校組合立大茸野小学校
長崎県長崎市立飽浦小学校
長崎県長崎市立大園小学校
沖縄県那覇市立真嘉比小学校
沖縄県竹富町立上原小学校
<中学校>
青森県青森市立北中学校
青森県横浜町立有畑小・中学校
岩手県一関市立本寺中学校
千葉県木更津市立第2中学校
千葉県千葉市立幕張本郷中学校
神奈川県川崎市立臨港中学校
新潟県長岡市立堤岡中学校
岐阜県萩原町立北中学校
愛知県西尾市立平坂中学校
京都府丹後町立宇川中学校

島根県六日市町立六日市中学校
岡山県新見市立豊永中学校
広島県広島市鈴峰女子中学校
徳島県鳴門市立鳴門中学校
高知県土佐山田町立鏡野中学校
佐賀県北茂安町立北茂安中学校
長崎市立日吉小・中学校
長崎県諫早市立有喜中学校
長崎県富江町立富江中学校
長崎県福江市立福江中学校
熊本県八代市立日奈久中学校
大分県臼杵市立豊洋中学校
鹿児島県里村立里中学校
沖縄県知念町立知念中学校
<高校>
岩手県立宮古水産高等学校
栃木県立小山北桜高等学校
茨城県立日立商業高等学校
埼玉県立武南高等学校
滋賀県立八日市南高等学校
宮崎県立延岡西高等学校
宮崎県立宮崎大宮高等学校
大分県立津久見高等学校
和歌山県立田辺工業高等学校

児童生徒対象調査結果

調査対象者の属性

小中高校生の回答数 単位(人)

小学生 1733 名
 中学生 1680 名
 高校生 493 名
 全 体 3906 名

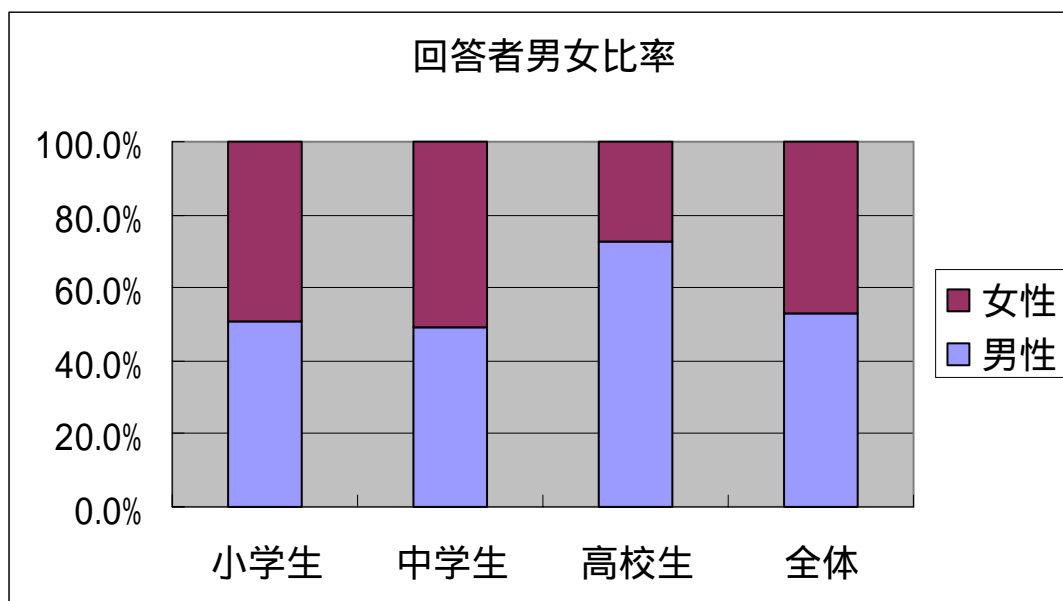
回答者	小学生	中学生	高校生	全体
男性	881	823	358	2062
女性	852	857	135	1844
合計	1733	1680	493	3906

合計 3906 名の小中高校生から回答があった。

協力校 53 校、回答予定人数は 5000 名以上だったが、実際には 4000 名弱のデータが集まった。回答者の男女の比率はほぼ均等だが、高等学校のみ、サンプル数も少ない上、さらに女性の率が少ない。これは、たまたま協力してくれた学校の事情によるものと考えられる。協力校の協力の度合いも、1 クラスのみ、1 学年、全校規模とさまざま。また、学校の規模も数 10 人のへき地校から、1000 人以上の大型校までさまざまである。

学校種別回答者男女比率

	小学生	中学生	高校生	全体
男性	50.8%	49.0%	72.6%	52.8%
女性	49.2%	51.0%	27.4%	47.2%



回答者の学年別分布

各学校からの回答は各学年にわたっていた。回答者は協力校自身が決めることであり、たまたま協力してくれた先生がご自分の担任するクラスで協力を呼びかけてくれたり、学年主任の先生が、その学年の児童生徒全員に回答させたなど、さまざまと思われる。100名程度

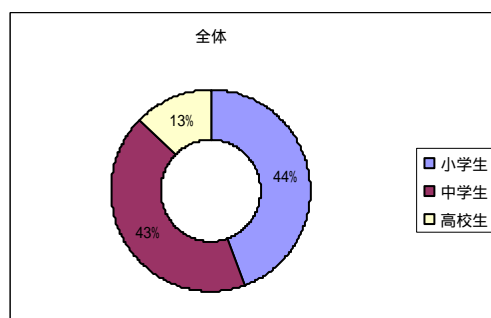
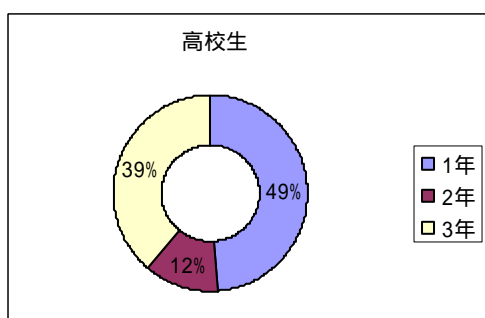
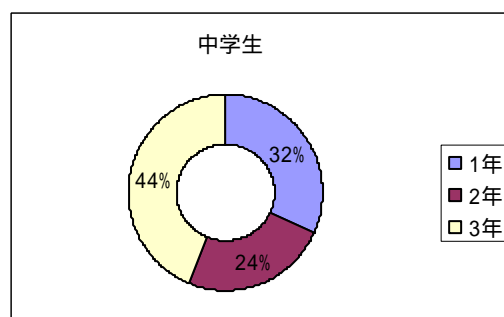
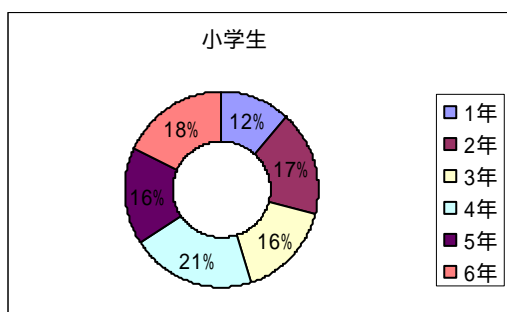
の申告だったのに、アンケート用紙をコピーして実際には300名以上（全校）の回答を寄せてくれた学校、しかも集計までしてくれた学校もあった。結果的に学年分布は理想的に分散された。

回答者の学年別分布

単位（人）

	小学生	中学生	高校生	全体
1年	201	533	240	
2年	300	409	61	
3年	277	738	192	
4年	361			
5年	280			
6年	314			
計	1733	1680	493	3906

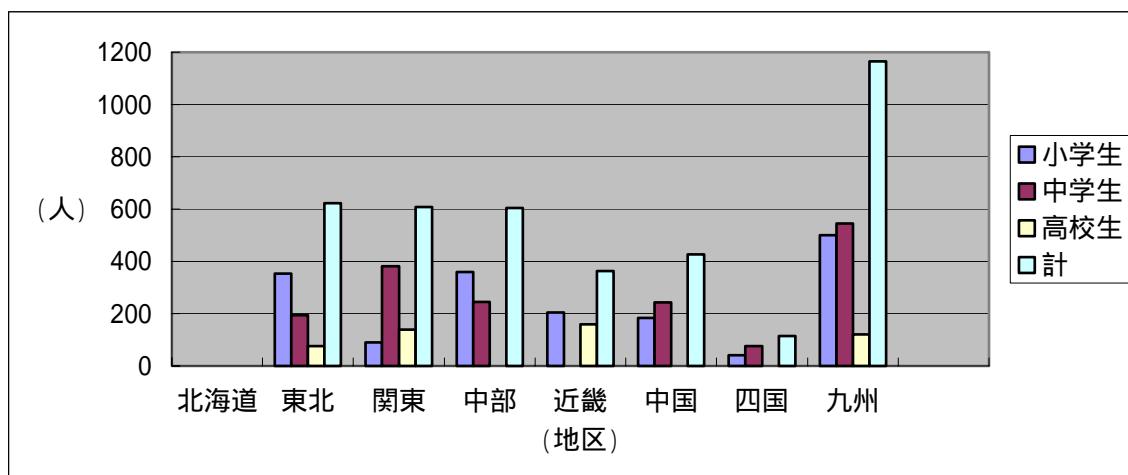
回答者の学年別分布のグラフ



回答者の地域別分布

協力校選定時には全国均等にデータが得られるよう配慮したが、予定していた学校が辞退するなど、結果的に多少のばらつきが出来た。しかし、小学校・中学校・高校とも地域的に極端に偏ることもなく、全国各地区の協力校から、貴重なデータが得られたと思われる。また、偏ったデータとならないように、協力校は、地域として海に近い学校・内陸地の学校を意識せずに選択した。ただ、残念ながら北海道内の学校の協力は得られなかった。

	小学生	中学生	高校生	計
北海道	0	0	0	0
東北	354	193	75	622
関東	90	381	138	609
中部	360	244	0	604
近畿	205	0	159	364
中国	184	242	0	426
四国	40	75	0	115
九州	500	545	121	1166
計	1733	1680	493	3906

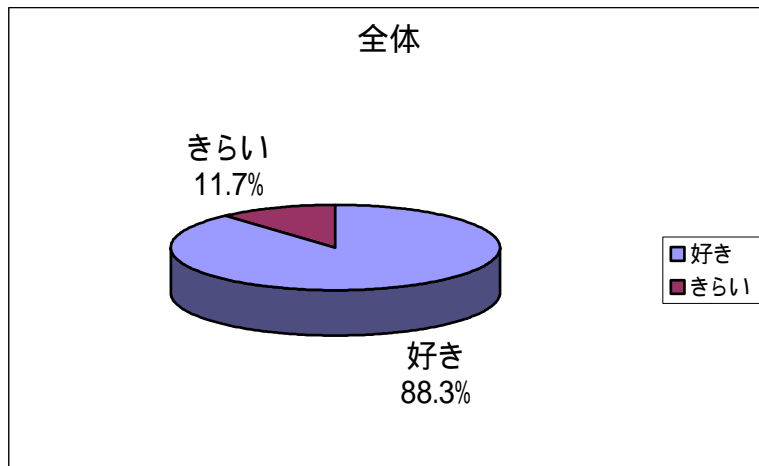


児童生徒対象調査結果

(A) 海について

Q1 あなたは『海』が好きですか

(人)	小学生	中学生	高校生	全体
好き	1644	1411	394	3449
きれい	89	269	99	457
計	1733	1680	493	3906



当然のことながら、ほとんどの子どもたちは海が大好きである。泳げる、きれい、広い、気持ちがいい、子どもたちの海に寄せる思いはさまざま。

家族や友人たちと海に行ったときの情景を思い浮かべながら回答してくれている姿が目につく。

海がきれいな人について、その理由として上がっているのは「海の汚れ」が圧倒的。また、潮臭い、べたべたする、砂が入るなど、海本来の持つ特長になじまない、過度の清潔志向が見えるような気がする。おそらくそれは保護者の感想でもあり、海で泳ぐより、カルキ消毒されてより危険の少ないプールへ子供たちを向かわせる理由の一つになっているのかもしれない。蛇足ながらクラゲは嫌われている。

海がきれいな人について、その理由として上がっているのは「海の汚れ」が圧倒的。また、潮臭い、べたべたする、砂が入るなど、海本来の持つ特長になじまない、過度の清潔志向が見えるような気がする。おそらくそれは保護者の感想でもあり、海で泳ぐより、カルキ消毒されてより危険の少ないプールへ子供たちを向かわせる理由の一つになっているのかもしれない。蛇足ながらクラゲは嫌われている。

好きと答えた方の記述（どんなところが）

（小学生）

<多数>

広い、海水浴、波が好き、波乗り、貝があるから、泳げるから、いろんな貝・魚がいる、遊べるから、波の音、風が気持ちいい、貝拾いが面白い、釣り、きれい、海の生物が好き

<その他>

魚が捕れる、夕日があたるとキラキラ光るから、見ていてあきない、広くて遊びやすい、なんとなく懐かしい感じがする、海にいと心が和む、どこまでも続く大きな海は嫌なこと忘れさせてくれる、海の水は透明で冷たくて気持ちいい、砂浜があったかい、かき氷が食べられる、砂浜で遊ぶ、ストレス発散、海はすずしい、海の水がしょっぱい、

海は自由、自然である、潮の匂いが好き、サザエが採れるから、魚が好き、魚がおいしい、魚がいっぱいいる、景色がよい、きれいな魚がいる、

海は落ち着く、キラキラしてるから、海は大きくて気持ちがいい

(中学生)

<多数>

広い、楽しい、きれい、泳げる、落ち着く、大きい、遊べる、青い

<その他>

生物がいる、釣りが出来る、海の色が好き、魚がいるから、海に来ると元気になる、海は気持ちがいい、ワクワクするから、夕日がきれい、未知な魅力に富むところ、においがいい、なんでもできるから、波の音、波があるから、海は気持ちが和むから、とびこみできるから、海水が冷たい、砂遊びができる、海辺は涼しい、海は人類の源、自然なところ、潮の香り、魚をとりたい、魚がいるから、カニがいる、開放的、お金がかからないから、色が好き、砂浜でいろいろなことができる、癒される

(高校生)

<多数>

広い(雄大)、きれい、落ち着く

<その他>

潜りが楽しい、海水に触りたい、海でボーっとしたい、深いから、にぎやかだから、波の音が好き、透明感がある、釣りができる、世界中と繋がっているから、海は全部好き、生物がいっぱいいるから、青春の場所という感じ、涼しい、スイカ割りが楽しい、神秘的な感じがする、海に来ると気持ちが自由になれる、魚がいるから、景色、ギャルがいっぱいいるから、気持ちいい、開放的だから、泳げる、男のロマンがある、音が好き、穏やかだから、癒される、遊べる、青いから

きらいと答えた方の記述(理由)

(小学生)

ゴミが多い(11)、クラゲがいるから(9)、日焼けをする・ひりひりする(7)、こわいから(4)、塩くさいから・しょっぱい・塩水が嫌い(4)、行った事がない(2)、ベタベタする、深いから、波が怖い、津波が怖い、サメがいるから、けがをする事が多いから、臭い空気が嫌い、汚い、泳げない、溺れるから、おぼれかけた経験があるから、嫌な思い出がある

(中学生)

クラゲがいるから(23)、ごみが多いから・汚いから(17)、潮臭い・塩辛い(12)、怖い(7)、泳げないから(6)、おぼれたことがある(3)、危険だから(3)、入るのがきらい、波がうるさい、父が海で死んだから、楽しくない、することがないから、靴に砂がはい、塩水がしみる、サメがいる、かゆい、酔うから、風が強いから、海藻がある、浮い

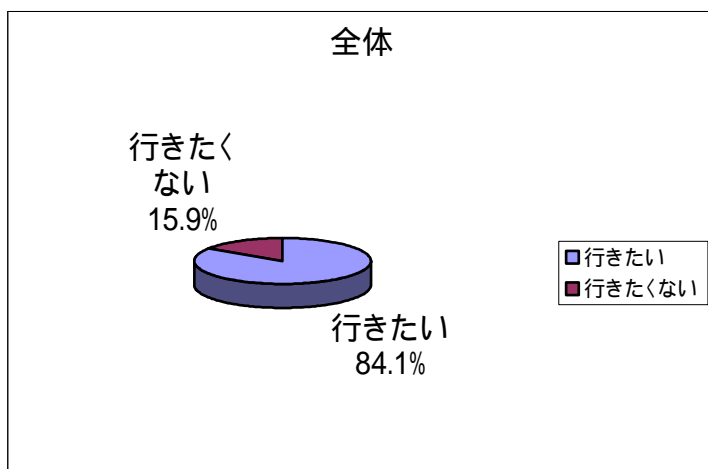
ているだけだから、アトピーだから

(高校生)

ゴミが多い・汚いから(9)、ベタベタするから(7)、日焼けするから(4)、砂がいや(2)、塩くさいから(2)、危険、風が強い、泳げないから、塩分が体に悪い、めんどろ、目にしみるから、水着になれないから、だるい、潮のにおい、潮風、海は寒い、怖い、クラゲがいるから、気持ち悪い、風が強い、泳げないから、アワビがいるから、足に着いた砂がうざい

Q2 『海』に行きたいですか

(人)	小学生	中学生	高校生	全体
行きたい	1629	1271	385	3285
行きたくない	104	409	108	621
計	1733	1680	493	3906



子どもたちの海への憧れは数字に表れているが、海に行ってなにがしたいかとなると、「泳ぎたい」「魚釣り」が圧倒的で、挙げてくれた人のほとんど過半数といってもよい。ほか、バーベキュー、貝ひろい、花火、ビーチバレー・ボート・スキューバダイビングなどマリンスポーツに人気があった。

気になったのは、散歩・ただ海を眺める・戯れる・日向ぼっこなどのように、子どもらしい積極的な楽しみ方とはいえない項目が多く挙がっていること。たまにはポケットとするのもよいが、もっと積極的に雄大な海を楽しんで欲しいもの。

行きたくない理由は予想通り「海の汚れ」に対する嫌悪感。これ以上「海の汚れ」が進むと、子どもたちの海離れは取り返しのつかない状況になる恐れがある。海経験の不足（海離れ）が海のきれいな子を増やす結果になることも調査からうかがえる。怖いとかおぼれるというような答えからは、あこがれとは裏腹に、常日頃海に親しんでいない子どもたちの姿が垣間見えはしないだろうか。寒いからという理由が多かったのは、たまたま調査の時期が寒い季節だったことによると思われる。

Q3 (1) 行きたいと答えた方、海でなにがしたいですか

(小学生)

<多数>

海水浴(泳ぎたい)、釣り、遊びたい

<その他>

バーベキュー、スイカ割り、ヨットに乗る、潜りたい、マリンスポーツ、ボディボード、ボートに乗りたい、ぼーっとしている、船に乗って探検、人があまりいないところで散歩したい、ビーチボールで遊びたい、ビーチバレー、ビーチグラスをさがす、波乗り、波に当たりたい、夏だったら行きたい、ただ海を眺める、飛び込み台から飛び込む、父の釣りを眺める、海の生物を見たい、生物をとりたい、生物観察、砂浜を走りたい、砂浜に寝そべる、砂浜で遊びたい、砂の城を作りたい、スキューバ・ダイビング、写生がしたい、写真を撮る、散歩、サンダルを浮かべたい、サンゴ礁を見たい、サザエ採り、魚の観察、魚と遊ぶ、景色を楽しむ、クロールで自分の最高記録をつくりたい、クルージング、カニを捕る、かき氷を食べる、貝殻ひろい、泳ぎを覚えたい、絵を描く、海を眺める、ウニを食べたい

(中学生)

<多数>

泳ぎたい(海水浴)、釣り

<その他>

友達と話す、洞穴探検、眺める、潜水、石投げ、写真を撮る、散歩したい、砂遊び、岩登り、貝ひろい、流木拾い、もの探し、マリンスポーツ、ボディボード、船に乗る、船に乗る、日焼け、ビーチバレー、花火、走りたい、バーベキュー、のんびりする、寝る、波の音を聞く、眺めたい、とびこみ、たわむれる、生物観察、砂遊び、スキューバ・ダイビング、スイカ割、水泳の練習、地引き網、自然に触れる、潮干狩り、サーフィン、環境保護、考え事、カニとり、貝拾い、磯遊び、歩きたい

(高校生)

<多数>

泳ぎたい(海水浴)、釣り

<その他>

夜の花火、夕日を見る、潜りたい、海を見るだけでいい、磯での水遊び、海の祭り、ボディーボード、浜辺で星を見たい、ボートのり、船に乗りたい、日焼け、暇つぶし、日の出を見たい、日なたぼっこ、ビーチフラッグス、ビーチバレー大会、花火、砂の上を走りたい、バーベキュー、のんびりする、日光浴したい、波の音を聞く、沖を眺める、素潜り、砂で遊ぶ、スキューバダイビング、スイカ割り、写真をとる、騒ぎたい、魚をみたい、サーフィン、景色を見る、キャンプ、ギャル鑑賞、貝拾い、朝日を見たい

Q 4 (2) 行きたくないと答えた方、その理由をお書きください

(小学生)

<20名以上>

ごみがある・汚い

<10名以上>

クラゲがいる

<10名未満>

日焼けをする、めんどくさい、冬は寒い、日焼けをする、プールがいい、こわい、人が多い、今の時期は寒い、行った事がない、何もすることがない、遠い、体に着くとチクチクするから、砂浜が歩きにくい、塩水が嫌い、サメがいるから、混んでいる、雰囲気嫌い、気持ち悪い、泳げないから、泳ぐのが苦手、泳ぎが上手でないから、おもしろくない、溺れる、おぼれて死ぬかもしれないから、溺れそう、海より楽しい事がある、嫌な事がまたあるかもしれない、家の前が海だから

(中学生)

<20名以上>

日焼けするから、寒いから、恐怖感がある

<10名以上>

冷たいから、水難事故があるから、汚いから・ごみが多いから、海が遠いから、海が近いから、泳げないから

<10名未満>

事故が多いから、サメがいるから、クラゲがいるから、臭いから、嫌いだから
酔うから、めんどくさい、砂が入る、危険だから、かゆいから、海藻がある、海水がべとべとする、泳げないから、行きたいと思わないから

(高校生)

<10名以上>

寒い、海が汚い

<10名未満>

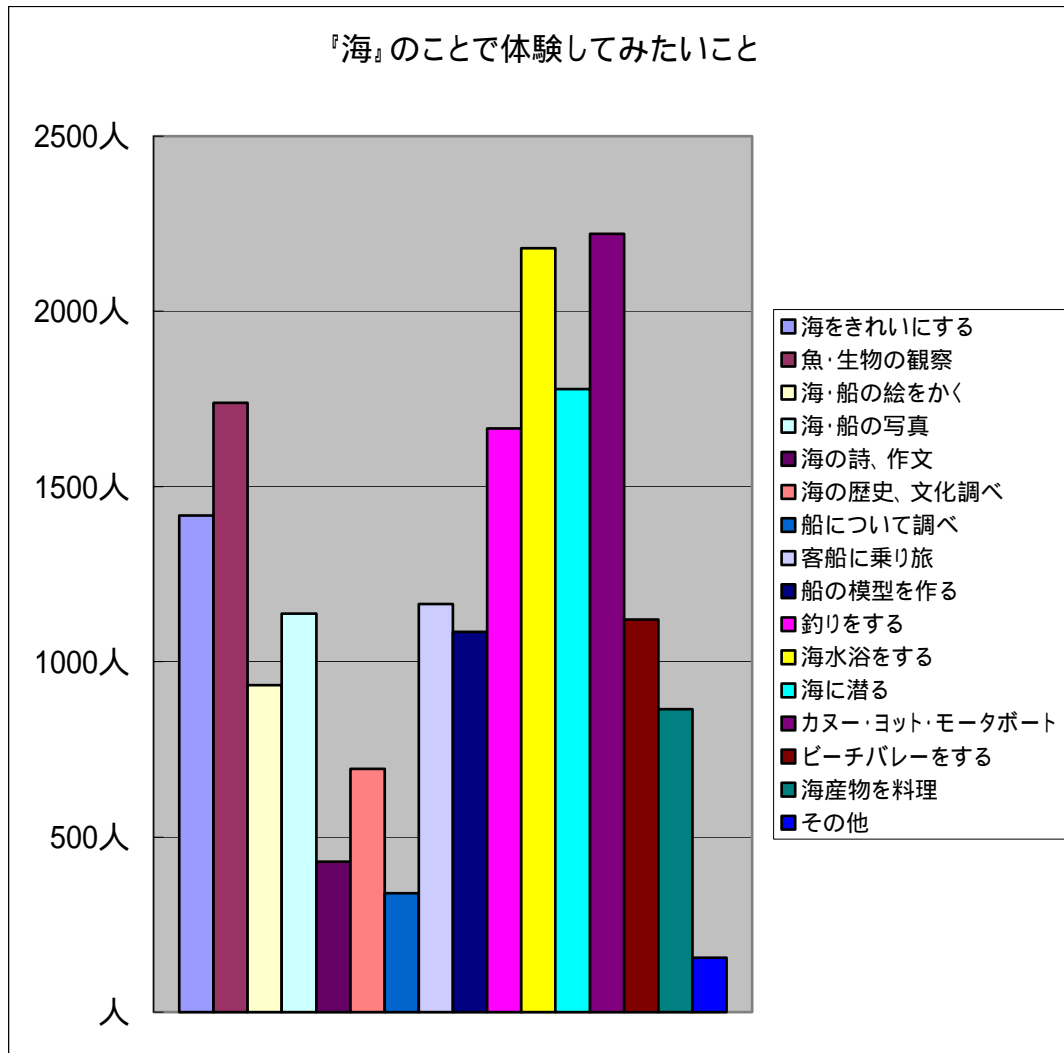
めんどくさい、目にしみるから、ベタベタするから、プールの方がいい、日焼けするから、人が多いから、遠いから、車酔いする、疲れるから、近くにあるから、砂浜の砂が嫌い、しんどいから、死人が出る、室内派、塩くさい、ゴミだらけ、クラゲに刺されるから、気持ち悪い、川の方が好き、風が強い、泳ぎが上手でないから、海が嫌い、いつも行ってるから、行ったことがないから、磯くさい、行く理由がない、家の前が海だから

Q5 『海』のことで体験してみたいことは何ですか

この設問は、複数回答になっている。上位を占めたのは「カヌー・ヨット・モータボート」(56.9%)、「海水浴をする」(55.8%)で、過半数を超えていた。特に「カヌー・ヨット・モータボート(マリンスポーツ)」は、教員・保護者の調査結果と大きく異なり、教員・保護者の理解を越えて、子どもたちに人気のあることがわかる。「海をきれいにする」(36.3%)、「魚・生物の観察」(44.5%)はそれなりに高い人気があるが、教員・保護者がぜひやって欲しいこととして強く望んでいるのに対し、物足りない感がある。

この調査結果は、教員・保護者の調査結果と比較してみるといろいろな発見がある。

回答者数 (割合の分母数)	1733	1680	493	3906	(単位 = 人)
	小学生	中学生	高校生	全体	全体の率
海をきれいにする	690	588	140	1418	36.3%
魚・生物の観察	802	763	173	1738	44.5%
海・船の絵をかく	433	403	98	934	23.9%
海・船の写真	538	503	96	1137	29.1%
海の詩、作文	203	190	37	430	11.0%
海の歴史、文化調べ	329	291	75	695	17.8%
船について調べ	159	149	32	340	8.7%
客船に乗り旅	550	497	117	1164	29.8%
船の模型を作る	498	466	121	1085	27.8%
釣りをする	751	721	193	1665	42.6%
海水浴をする	982	940	258	2180	55.8%
海に潜る	803	769	207	1779	45.5%
カヌー・ヨット・モータボート	1005	962	255	2222	56.9%
ビーチバレーをする	512	488	121	1121	28.7%
海産物を料理	409	360	96	865	22.1%
その他	69	62	24	155	4.0%
(計)	8733	8152	2043	18,928	



(その他の記述回答)

(小学生)

貝殻ひろい、魚を取る、サーファーになりたい、絵を書く、海辺水族館を作りたい、遊ぶ

(中学生)

海産物の料理を食べる、えさを持って海に潜り魚が食べるところを見たい、飛び込み

(高校生)

サーファーになる、軟派、潮干狩り、ダイビング・クルージング、潜水艦で海中を見る、何もしないでただいる、バーベキュー、花火

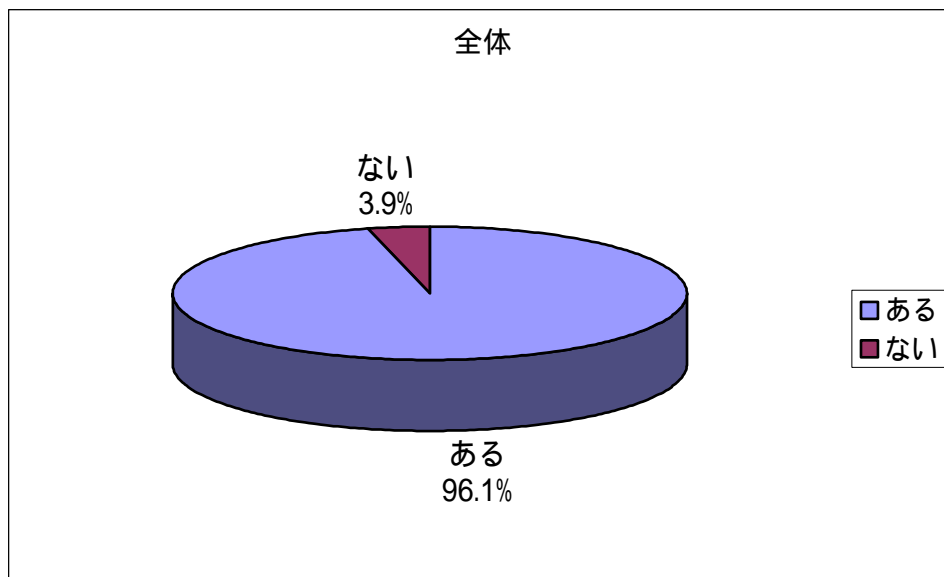
Q 6 『海』に関係した博物館や資料館、

水族館などに行ったことがありますか

家族で行ったのか、学校で連れて行ってもらったのか、小中高校生のほとんどが行った経験を持つ。これは子どもたちの興味が高いという以外、楽しめる博物館や水族館が身近にあるという環境も作用していると思われる。

最近の博物館や水族館は、珍しい陳列物や泳いでいる魚をただ眺めるだけではなく、飽きさせないように、またリピーターとしてときどき来てもらえるよう、触ったり体験したりといろいろ工夫しているところも多い。その場に行っただけでたくさんの知識を得ることができ、行けばまた来たいと思うはず。積極的に活用していただきたい施設である。「海の日」にしてもらいたいことの調査にも出てくるが、そのために《博物館や水族館無料開放デー》を設定するののも一つの方法であろう。

	小学生	中学生	高校生	全体
ある	1694	1604	457	3755
ない	39	76	36	151
計	1733	1680	493	3906



(B) 『海の日』について

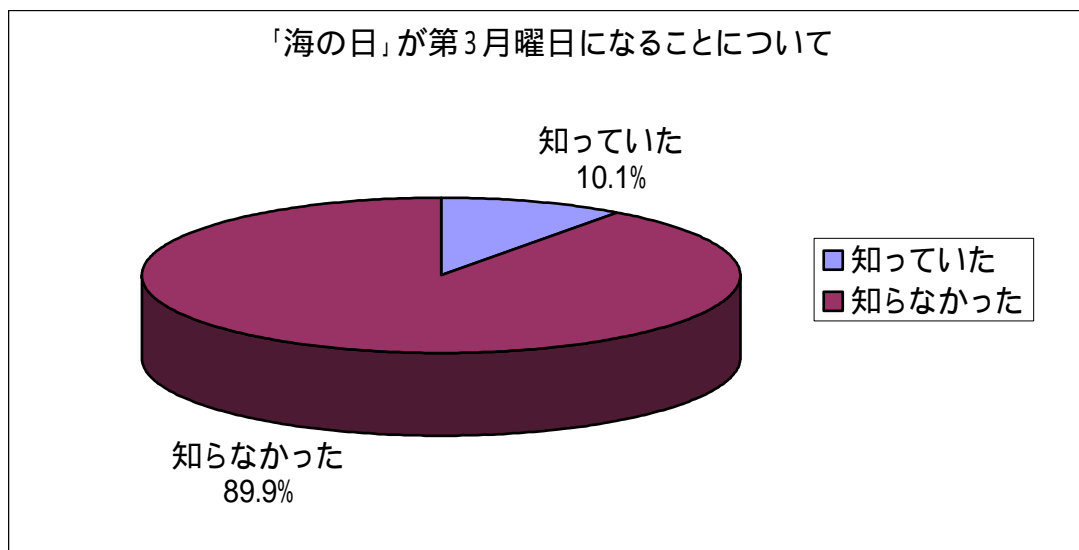
Q 1 平成15年から『海の日』が

7月の第3月曜日になることを知っていましたか

ハッピーマンデーとして、平成15年から「海の日」が7月の第3月曜になることは教員、保護者にも意外と知らない人が多いという結果が出ている。そのことを考えると、子どもたちが知らないのもうなずけるが、教員、保護者の意見・感想にも多かったように、「海の日」の由来や意義をもっと積極的にアピールする必要性を痛感する。そのためにはマスコミの活用が効果的だが、費用対効果を考えて学校の協力を得てより効率的に子どもたちに訴えかける努力も求められる。

また、7月20日はすでに夏休み中というケースが多く、その意味ではいままで「海の日」が夏休みに埋没していたきらいもあった。しかしこれからは「海の日」の位置づけがきちんとできてくる。生徒・児童はもちろん、教員、保護者に至るまで、貴重な休日となる「海の日」の由来や意義を積極的にアピールするチャンスである。7月の第3月曜になることによって、その年にもよるが、15日～21日が「海の日」になるので、これから先、認識も強まっていくのではないかと考えられる。

	小学生	中学生	高校生	全体
知っていた	161	173	62	396
知らなかった	1572	1507	431	3510
計	1733	1680	493	3906

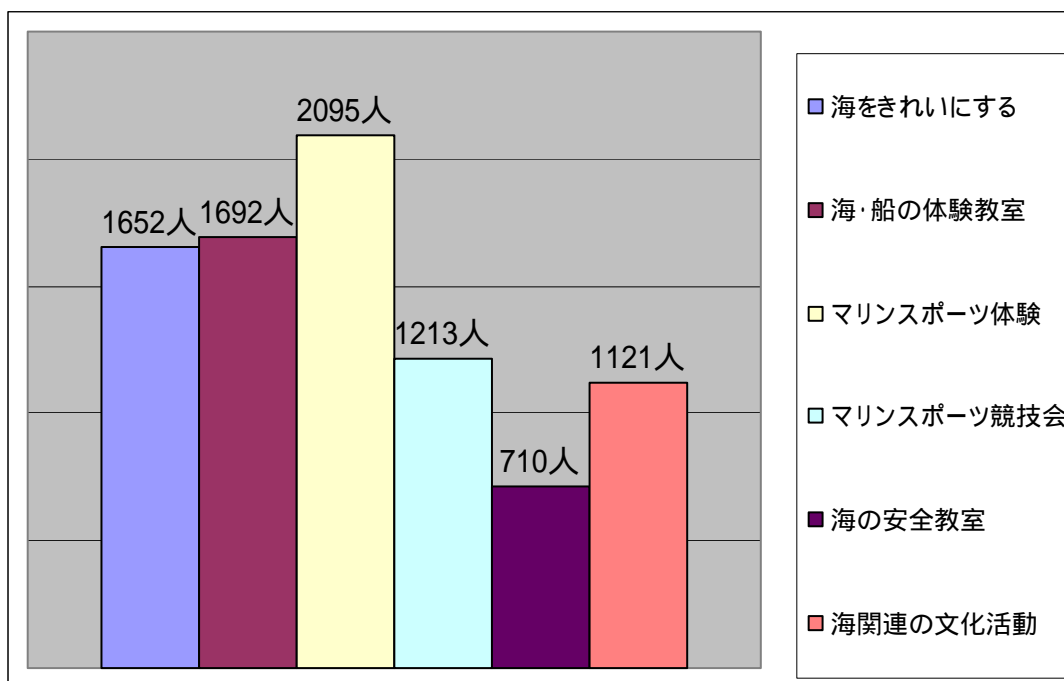


Q 2 『海の日』には全国でたくさんの行事が行われていますが、

次のうち興味のあるものは何ですか

単位(人)

回答者数 (率の分母の数値)	1733	1680	493	3906	
	小学生	中学生	高校生	全体	全体の率
海をきれいにする	760	705	187	1652	42.3%
海・船の体験教室	769	726	197	1692	43.3%
マリンスポーツ体験	963	890	242	2095	53.6%
マリンスポーツ競技会	575	511	127	1213	31.1%
海の安全教室	341	290	79	710	18.2%
海関連の文化活動	522	476	123	1121	28.7%



表とグラフのように「マリンスポーツ体験」に、小中高校生の別なく過半数の人が投票した。「海をきれいにする」「海・船の体験教室」に人気の集まった保護者・教員の調査結果とそこが異なる。マリンスポーツを楽しむ人口がまだまだ少ないに関わらず、「マリンスポーツの競技会」を含め、マリンスポーツに対し子どもたちが高い関心を示していることから見えるものは何だろうか。楽しむための環境が整っていない分、あこがれているということだろうか。「海をきれいにする」「海・船の体験教室」ももちろん多かった。

Q3 海の日に実施してほしい行事

(小学生)

<20 以上>

海をきれいにする活動、マリンスポーツの体験教室、ビーチバレー大会、釣り

<10 以上>

海の生物観察、海洋博物館・水族館を無料で見学、潮干狩り

<10 未満>

船に乗って魚釣り、船に乗せて欲しい、花火大会、釣り大会、海の生き物とふれあう、魚の放流、海の探検、料理の試食会、潜水艦で海の探検、ボートに乗る・ヨットに乗る、船の旅、バーベキュー、子どもでも飽きない水族館、クラゲ取り競争、キャンプ、かに取り大会、貝のアクセサリ作り

(中学生)

<20 以上>

海岸清掃、ビーチバレー大会、釣り、海の生き物観察、海洋博物館・水族館入館無料

<10 以上>

バナナボート体験、スキューバダイビング教室、魚を食べるお祭り(試食会、さかな無料サービス、さかなの安売り)、美しい海の特番<テレビの特別番組>

<10 未満>

サーファーショー、海での撮影会、船に乗って魚釣り花火大会、釣り大会、海の生き物とふれあう、魚の放流、海の探検、船の旅、バーベキュー、キャンプ、貝のアクセサリ作り、海鮮料理コンテスト、潜水大会、宝探し、スポーツ大会、水族館探検、水泳大会、地引網、さかなのつかみ取り、海の温泉ツアー、大型船体験、海のことを安く売る、1日中海で遊ぶ、1人1匹魚をあげよう運動

(高校生)

<20 以上>

海の清掃活動(ボランティア)、海祭り

<10 以上>

海のオリンピック、ビーチサッカー・ビーチバレー大会、海の幸を食べる会

<10 未満>

潜って魚をみたい、海辺の清掃ボランティア活動、乗船体験・ボート乗り体験、海のフェスティバル、マリンスポーツ教室、花火大会、1日海人体験、何もしなくていい、バーベキュー食べ放題、ビーチフラッグ大会、貝取り放題、映画鑑賞、海の事故注意の呼びかけ、魚の写真を撮る、海の家を増やす

(解説)

すでにさまざまな質問での結果からも出ているように、「海をきれいにする活動」「マリンスポーツの体験教室」などの意見が圧倒的に多かった。これは「海の日」のイベントとして実施する場合に、働きかけ方法・内容により子どもたちの理解と参加協力が十分得られる可能性を示している。

博物館や水族館無料開放の要望も多かった。せっかく立派な施設が全国各地にあるのだから、無料開放の日を作り、一人でもたくさんの人に来てもらうことが大事と考える。

ほか魚とふれあう、魚を食べる、魚のつかみ取りなど、魚をテーマにした意見も多かった。

(C)「海」や「海の日」についてご意見ご感想

(小学生)

<多数>

*海をきれいにしたい、またはその活動をしたい、海がきれいだったらいい、海を大切にしたい、ごみ拾いの行事をしてほしいなど、海的环境保護に関する意見感想。

*海はきれいだから好き、海に来ると心が和む、「海の日」が出来てよかったなど、海を賛美し「海の日」に対し肯定的な意見感想。

<その他>

「海の日」生まれなので変ると困る、「海の日」が休みになってうれしい、どうして海があるのか、海に行ったとき楽しかった、「海の日」は今まで通りがいい、お魚のことをもっとたくさん知りたい、さかなと泳ぎたい、今年も行けなかったので残念、クラゲ情報を教えて欲しい、「海の日」は休日にしなくてよい、海洋博物館に行った、海水はしょっぱすぎる、沖縄のようにきれいな海を増やして欲しい、海は楽しい、「海の日」は何のためにあるのか、いるかと遊びたい、いっぱい泳ぎたい

(中学生)

<多数>

*海をきれいにしたい、またはその活動をしたい、海がきれいだったらいい、海を大切にしたい、ごみ拾いの行事をしてほしいなど、海的环境保護に関する意見感想。

*海はきれいだから好き、海に来ると心が和む、「海の日」が出来てよかったなど、海を賛美し「海の日」に対し肯定的な意見感想。

<その他>

自然保護活動をする機会を増やして欲しい、山の日も作って欲しい、「海の日」にみんな出来る活動がしたい、都会の人も山の人もしょに楽しめるイベントがあったらよい、近くに水族館を建てて欲しい、「海の日」が出来た理由を教えて欲しい、「海の日」は どうして第3月曜になるのか、「海の日」に70歳の友達が出来た、海に行ったとき楽しかった、「海の日」は今まで通りがいい

(高校生)

<多数>

*海的环境保護に関する意見感想。

*海を賛美し「海の日」に対し肯定的な意見感想。

<その他>

「海の日」を「海の週」にして欲しい、「海の日」は7月20日のほうがいい、海水浴場の混み具合はどうかならないか、「海の日」がいっぱいあるとよい、安全を保障できる海

があるとよい、魚のとりすぎに注意、「海の日」は夏休みの一部になってしまう、「海の日」の由来を教えて欲しい、海なし県に住んでいるので時々海に行きたくなる、海のイベントに興味がある、日本の海はハワイのようにきれいにならないかな、魚を配るイベントがいい

(総括)

学校現場の先生方、小学校・中学校・高等学校の子どもを持つ保護者の調査結果に加え、この調査では、小学生・中学生・高校生のナマのデータを得ることが出来た。回答用紙一枚一枚から、子どもたちの自由な発想、考えが伝わってくる。無記名ということもあり、子どもたちの海に寄せる熱い思いを聞くことができたと考える。

「海」や「海の日」について、子どもたちがどのように考えてどんなイメージを持っているか、随所に示唆に富むデータが集計された。「海」や「海の日」についてひろく国民に知らせ理解を促すという活動において、このようなデータ・情報はきわめて重要であろう。

海にあこがれ、海に対しよいイメージを持つたくさん子どもたちに混じって、海体験が希薄なため、海に対し親近感を持たない子どももいる。美しい日本の海を守り、そして子々孫々、国民誰にも親しめる海を維持していくためには、次世代層である子どもたちに海を理解してもらうことが不可欠である。そのためには、子どもたちに大きな影響力を有する学校関係者、そして保護者の海に対するイメージアップが非常に重要である。

学校現場の先生方、小学校・中学校・高等学校の子どもを持つ保護者対象の意識調査結果と合わせ、本調査結果が、今後の「海」や「海の日」の啓蒙活動の参考になれば幸いである。